

松山圏域感染症対策連携協議会の開催結果について

日 時:令和7年2月25日(火)18:30～19:30

場 所:中予地方局7階大会議室 及び WEB

出席者:23名(出席者名簿のとおり)

1 開会

2 委員紹介

3 会長挨拶

4 議 事

議事については、事務局から資料に沿って説明した後に意見交換を行った。

(1)松山圏域の感染症発生状況について

・高病原性鳥インフルエンザ防疫従事者の受診について

[意見]健康観察期間中にインフルエンザ様症状が発現した際、防疫従事者であることを伝えず受診した者がいたので、受診する際の対応を徹底してもらいたい。

[回答]今回の経験を踏まえ、高病原性鳥インフルエンザ等発生時の対応を見直しているところであり、受診の際の対応も徹底できるよう努めます。

・梅毒の発生状況について

[意見]多い年代や性別はどうか。保健所は啓発等、どのような対応をしているのか。

[回答]年代では30～40歳代、性別では男性が多い。

保健所では、HIV検査に併せて梅毒検査も実施している。また、保健所のホームページや健康便り、思春期の健康教育等の機会をとらえた啓発を行っている。

[意見]女性では、妊婦の陽性者もあり、産婦人科で問題になっている。

愛媛県は、どの疾病においても患者数等が全国の100分の1という特徴があるが、梅毒の届出数も同様であることから、本県が特別多いというものではないと思われる。

(2)愛媛県新型インフルエンザ等対策行動計画について

・意見なし

(3)医療措置協定について

[意見]松山圏域では、発熱外来や自宅療養者等への医療提供(病院・診療所)の締結率がやや低いのが気がかりである。協定締結の更新はあるのか。

[回答]協定は県と医療機関の間で締結しており、毎年度1回、GMISで状況を報告してもらうことになる。医師や看護師不足は認識しており、今後も協力を依頼していきたい。

(4)松山圏域における感染症対策について

[意見]県内他圏域の協議会の状況等を共有して、感染症対策に取り組んでももらいたい。

(5)急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスについて

・意見なし

(6)その他

・意見なし

6 閉会